

Shiga Health Report

からだ&こころの相談は保健管理センターへ

子宮頸がん予防とHPVワクチンキャッチアップ接種

滋賀大学保健管理センター 看護師 今村祐子

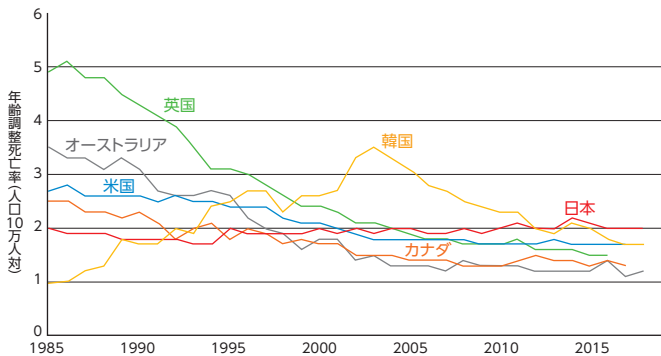


図1 子宮頸がん年齢調整死亡率の年次推移

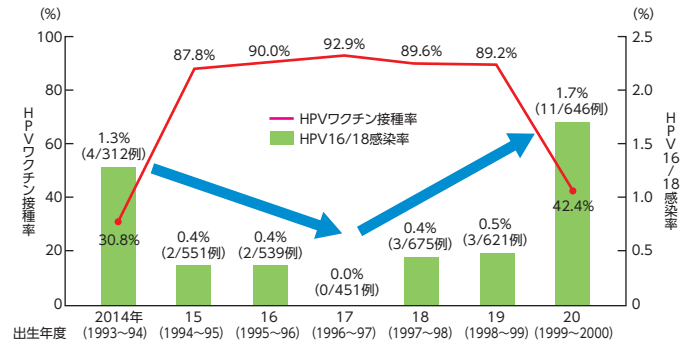


図2 ワクチン積極的勧奨中止後世代でHPV16/18型感染率が急増

日本では毎年約10,000人の女性が子宮頸がんと診断され、年間約2,900人の女性が子宮頸がんによって命を落としています。多くの先進国では子宮頸がんの死亡率は検診の普及により減少していますが、日本では子宮頸がんになる人も死亡する人も増える傾向にあり、西欧、オーストラリア、韓国などよりも高いレベルとなっています(図1, 参照1)。

ヒトパピローマウイルス(HPV)は感染しやすく、性交経験のある人の大半が生涯で一度はHPVに感染します。子宮頸がんをはじめ、肛門がん、膣がんや、尖圭コンジローマなど、多くの病気の発生に関わっています。HPVは男性にも感染し、陰茎がんなどの病気を発生させます。子宮頸がんの95%は、HPVの子宮頸部への持続的な感染が原因です。HPVには200種類以上の「型」があり、その中でも16型と18型が子宮頸がんの原因の65%を占めています。

HPVワクチンは2006年に開発されたHPVの感染を防ぐワクチンです。2022年12月の時点で120ヶ国以上の国々において公的な予防接種が実施されています。

日本では2009年に承認され、2013年4月から小学校6年～高校1年相当の女子を対象に、公費(無料)による定期接種が開始されました。しかし有害事象との関連が疑われ、同年6月には国から、HPVワクチン接種の「積極的な勧奨の差し控え」が通達され、接種率は激減しました。

20～21才におけるHPV16/18型の感染率を調査した新潟大学の研究によると、HPVワクチンの公費接種の導入により、接種率が高かった世代の感染率は減少(2017年にはゼロ)が観察されました。しかし「積極的な勧奨の差し控え」により接種率が低下した世代の感染率は、再上昇していました(図2, 参照2)。

HPVワクチン接種の「積極的な勧奨の差し控え」は2023年3月末に終了しました。この差し控え期間に接種機会を逃した方に対して公費で接種機会を提供するのが「キャッチアップ接種」です。1997年4月2日～2007年4月1日生まれの女性が対象で、今の大学生の多くがこのキャッチアップ接種の対象となっています(参照3)。キャッチアップ接種には期限があり、接種回数は一定期間を空けて2～3回のため、公費で接種を希望される方は早めの検討が必要です。住民票のある各自治体に確認してください。

なお、滋賀県では県内の大学に通う学生や一般市民の方を対象に、滋賀医科大学医学部附属病院母子女性診療科に「HPVワクチン接種特別枠」が設置され、男女を問わず、希望者への接種を実施しています。男性のHPVワクチン接種は任意接種(自費)です。

また、ワクチン接種を受けた場合でも、完全に子宮頸がんを防げるわけではありません。20歳を過ぎたら定期的に子宮頸がん検診を受けることが大切です。

この機会に、子宮頸がん・HPVワクチンについて正しく理解し、接種についてよく考えてみましょう。

【参照】

- 国立がん研究センターがん対策研究所.「子宮頸がんとその他のヒトパピローマウイルス(HPV)関連がんの予防」ファクトシート2023
<https://www.ncc.go.jp/html/icc/hpvcancer/index.html>
- 新潟大学. ワクチン積極的勧奨中止の影響でHPV感染率が再上昇 ー大規模疫学研究NIIGATA studyー
<https://www.niigata-u.ac.jp/wp-content/uploads/2022/04/220401rs.pdf>
- 厚生労働省.「ヒトパピローマウイルス感染症～子宮頸がん(子宮けいがん)とHPVワクチン」
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou28/>

保健管理センター カウンセリング室のご案内

～こころの相談について～

保健管理センター カウンセリング室では、大学での生活、人間関係などの悩みや不安について、医師とカウンセラーがこころの相談に応じています。相談の内容に関しては完全に秘密が守られますので、気軽に相談してください。家族・友人・指導教員からの相談にも応じています。

なお、相談は原則として予約制ですので、保健管理センターまで連絡してください。

予約時に下記をお伝えください。(必須 任意)

学籍番号
お名前
カウンセラーの性別(男性・女性)
希望日時
実施方法(対面・LINE通話・Zoom)



からだ・こころの相談

カウンセラーの性別・希望日時・実施方法は、ご希望に添えない場合もございますがご了承ください。

♡ からだ & こころの相談は保健管理センターへ

	からだの相談	こころの相談
彦根キャンパス 保健管理センター ☎ 0749-27-1024 ✉ hoken@biwako.shiga-u.ac.jp	山本医師(内科)…………… 毎週火・木 高村医師(整形外科)…………… 第1金 女性相談…………… 未定	カウンセリング室 久保田医師…………… 毎週火・金 國松カウンセラー…………… 毎週月 障がい学生支援室※ 谷口カウンセラー…………… 毎週水・金
大津キャンパス 保健管理センター分室 ☎ 077-537-7709 ✉ hoken@edu.shiga-u.ac.jp	山本医師(内科)…………… 毎週月・水 北村(清)医師(内科)…………… 毎週火 北村(博)医師(整形外科)…………… 第1・3金 女性相談…………… 未定	カウンセリング室 久保田医師…………… 毎週月・木 岩城カウンセラー…………… 毎週木 障がい学生支援室※ 谷口カウンセラー…………… 毎週火・木

上記の相談日は講義等の都合により変更されることがあります。最新情報は学内掲示板等を確認してください。

〈 障がい学生支援室※ との連携について 〉

保健管理センター カウンセリング室は、必要に応じて障がい学生支援室と連携しています。

障がい学生支援室では、修学上の支援や学生生活の支援を必要としている学生に対して、個別のニーズに応じた様々なサポートを行います。各学部及び各研究科と連携し、よりよい修学環境で学生生活が送れるように必要な支援を提供します。

詳細・連絡先は、右記のQRコードから滋賀大学ホームページ「障がいのある学生への支援」をご覧ください。



滋賀大学ホームページ
障がいのある学生への支援